
産業応用フォーラム開催のお知らせ

産業応用フォーラム「鉄道における状態監視・危険予知の技術」

概要：

「鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会（委員長：奥谷 民雄）」では、鉄道における各分野の状態監視技術、危険予知技術の現状及びニーズに関する国内外の調査結果、国内他産業の状態監視システムの現状についての調査結果をとりまとめ、今後鉄道において実用可能な状態監視技術や危険予知技術という点から調査検討を行い、鉄道システムの安全性確保と、より一層の合理的運営をもたらすであろうと期待される保守・保全技術について検討しました。

本フォーラムでは、同委員会の活動成果について御報告し、さらに車両システム、信号保安システム、また他分野や海外での状態監視・危険予知技術について解説します。状態監視・危険予知技術の開発・製作に携わっている方、利用されている事業者の方のみならず、将来の鉄道システムのあり方を検討する上においても、有益なフォーラムになると確信します。多くの方々のご参加をお待ち致します。

日 時：2008年10月31日（金）13時30分～17時00分

場 所：電気学会 会議室（東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階）

プログラム：

- 13:30-13:45 交通・電気鉄道技術委員会 委員長挨拶 中村英夫
13:45-14:00 「鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会」について
奥谷民雄（元 鉄道建設・運輸施設整備支援機構）
14:00-14:30 鉄道信号設備の状態監視を目的とした事故データ分析及び評価
福田光芳（鉄道総合技術研究所）
14:30-15:00 車両の状態監視・危険予知の技術 青山育也（東芝）
- 15分休憩
- 15:15-15:45 信号設備の状態監視・危険予知の技術 五島雄一郎（日本鉄道電気技術協会）
15:45-16:15 他業種の状態監視・危険予知技術 田代維史（元日立製作所）
16:15-16:45 海外の状態監視・危険予知の技術調査報告 水野啓介（京三製作所）
16:45-17:00 自由討論
17:00 閉会挨拶 奥谷民雄 委員長

テキスト：電気学会技術報告第1089号「鉄道における状態監視・危険予知技術」（定価¥2,520）を使用いたします。

参加費：テキストをお持ちでない場合：一般 会員 4500円 非会員 5500円（テキスト代含む）
学生 会員 2500円 非会員 3000円（ ” ” ）
テキストをお持ちの場合：一般 会員 2000円 非会員 3000円
学生 会員 1500円 非会員 2000円

申込方法：『会社名、お名前、お電話番号、参加費の別』をお示しの上、下記まで申込みをお願い致します。当日参加も可能ですが、テキストと席には限りがありますので、出来る限り事前のお申込みをお願い致します。

申込み、問合わせ先：（財）鉄道総合技術研究所 信号担当 福田光芳
TEL:042-573-7325 FAX:042-573-7323
E-mail: mfukuda@rtri.or.jp

主 催：電気学会 産業応用部門 交通・電気鉄道技術委員会（委員長 中村英夫）
鉄道における状態監視・危険予知の技術に関する共同研究委員会（委員長 奥谷民雄）